

瀬戸内国際芸術祭 2019 夏会期・秋会期のご案内

夏会期 7月19日（金） - 8月25日（日） | 秋会期 9月28日（土） - 11月4日（月 祝）

ドットアーキテクツによる建築ミーティング
ままごとによる新作パフォーマンス（戯曲：柴幸男）他多数イベントも開催



Photo : Yoshinao Masuda

今年で4回目の開催となる瀬戸内国際芸術祭

2019は、4月26日（金）（春会期）に開幕し、12の島と高松港周辺、宇野港周辺の14会場で「海の復権」をテーマにスタートしました。小豆島では、38の作品と4つのイベントが開催され、春夏秋の3会期を通じて、現代アートを楽しむことはもちろん、瀬戸内国際芸術祭を通して小豆島の文化や歴史などの新たな魅力を発見したり、世界各国の人々と交流する機会を提供しています。

会期を通し、アート作品の新作展示やイベントなどが多数開催されています。

本リリースでは、ハイライトとしてイベントと新しい作品など数点をご案内します。

全作品の詳細は、別添のPDF資料よりご覧ください。

イベント、新作のご案内

夏会期：小豆島建築ミーティング Vol.4



2013年の夏に第1回建築ミーティングを開催し、今回で4回目を迎える。「小豆島建築小学校」と題し様々なフィールドで活躍する建築家を数組招聘。小豆島から建築にまつわる様々な話を発信する。

主催：小豆島町、ドットアーキテクト

参加建築家：垣内光司、木村吉成、島田陽、中山英之、
藤村龍至、松川昌平、宮城島崇人、森田一弥、
家成俊勝

日時：8月23日 [金] 17:00～

会場：Umaki camp

料金：無料（申込不要）

※雨天時は旧醤油会館2階（sd28展示施設）で実施。

秋会期：ままごと「芝生男女」



小豆島の景色の中でパフォーマンスを上演。会場は毎回異なり、様々な風景の中で繰り広げられる臨場感あるパフォーマンスを楽しむ。

アーティスト：ままごと

振付・演出：康本雅子 戯曲：柴幸男

出演：石倉来輝、小山薫子 衣裳：南野詩恵

制作：加藤仲葉、宮永琢生

日時：10月25日 [金]・26日 [土]・27日 [日] 17:00-17:30

場所・定員 池田の棧敷 [25日/100名程度]

二十四の瞳映画村内木造校舎 [26日/30名程度]

瀬戸の浜海岸 [27日/40名程度]

料金：予約制【詳細はままごとWEBサイトより】

辿り着く向こう岸 —シャン・ヤンの航海企画展



古い木材を使用した壮大な航海プロジェクト。廃棄された古い漁船と家具を組み合わせた屋外作品を発表。同時に、2つの倉庫でスケッチや映像、資料、航行模型などを展示し、その周辺に長さ27メートルもの船を設置。この2つの作品はいずれ、シャン・ヤン（向阳）が計画中の航海プロジェクトの「船」の一部になる予定。

アーティスト：シャン・ヤン [向阳]

展示場所：草壁港

時間：09:30～17:00

潮耳荘



ホルン型の集音装置が、拾い集めた波や船の音を建物の中に響き渡らせる作品。

アーティスト：伊東敏光+康 夏奈+広島市立大学芸術学部有志
展示場所：三都半島

時間 09:30～17:00

福武ハウス―「アジア・アート・プラットフォーム」 「アジアギャラリー」



福武ハウスは、小豆島の福田という一つの集落を通して、アジア諸地域がつながるプロジェクトとして2013年に始動しました。旧小豆島町福田小学校を再生した「福武ハウス」の他、アジア各地域の料理を福田の地域住民がふるまう「福田アジア食堂」、福田地区とアジアのパートナーが様々な活動を通してお互いの理解を深めるプロジェクトなどを展開してきました。2019年は、旧小豆島町福田小学校校舎の2階をギャラリー空間に改装した「アジア・ギャラリー」を新たにオープンし、ベネッセアートサイト直島が所蔵するアジアコレクションを中心とする展覧会を開催します。建築家の西沢立衛がアジアギャラリーの改装を進め、近年、新たにシンガポール・ビエンナーレを舞台に展開されているベネッセ賞や調査等を通して集められたアジア現代美術作品のほか、この場所・空間に合わせて構想・制作された新作などを展示します。

展示場所：福田エリア

時間：09:30-17:00 ※福田アジア食堂は16:00まで

主催：公益財団法人 福武財団

協力：株式会社ベネッセホールディングス、小豆島町、福田地区自治連合会、Fukutake Fine Arts

アジア・アート・プラットフォームとは

福武ハウスでは、2013年の瀬戸内国際芸術祭から、小豆島のひとつの集落を通してアジア諸地域がつながるプロジェクト「アジア・アート・プラットフォーム」に取り組んできました。アジアの文化と多様な人々が交差するプラットフォームを目指し、各地域で活動する美術関係団体をパートナーとして、福武財団の資金に加え各々が個別に資金調達を行い作家やシェフを招聘し、アーティスト・イン・レジデンスや展覧会の開催、食のワークショップを小豆島町、福田地区自治連合会との協働で実施するなど、アジアの歴史や固有の文化を通じた実践とプレゼンテーションを行ってきました。2019年は、プラットフォームづくりの次のステップとして、これまで関係を結んできたパートナー団体とともにパフォーマンスイベントを新たに企画します。異なる歴史や背景を持つ人たちが、一つの共通したテーマでパフォーマンスイベントを開催し、組織を超えて企画の取りまとめ、役割分担をするなど、体制を作ることで、交流の相乗効果が生まれることを目指して行きます。また、小豆島の中でも最も東端に位置し、山に包まれた小さな集落、福田地区が会場になることで、自然との関係や本質的な生き方を考え直すきっかけとなることを願っています。

本件に関するお問合せ先

小豆島町プレスサポート：株式会社ハウ

MAIL pressrelease@how-pr.co.jp

TEL 03-5414-6405

FAX 03-5414-6406